

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもみらいらぼSAI			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 15日		～	2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2025年 3月 15日		～	2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種のスタッフが密に連携をとり、それを生かした療育内容を実施している。	毎日の情報交換や、全員そろってのケース会議の開催を行って、支援方針の一本化を計っている。	共有する内容を支援内容だけにとどまらず、それぞれの分野の知識を共有し、理解を深めて交互に支援に入り、連続した効果の高い支援を目指す。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	日々の様子をLINEでお知らせしたり、送迎時に様子を伝えたり尋ねたりしている。	親子行事や定期的な面談、茶話会を通してスタッフと保護者、保護者と子ども、保護者同士などで連携をとれるようにしていく。
3	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	ヒヤリハットが起きた場合には報告書を作成し、全教室に共有するとともに、対応策を話し合って実行している。他教室で起きた事例に関しても自教室で起きる可能性を想定し、対応策を考え、実行している。	ヒヤリハットを児童にも共有し、再発防止策について一緒に考えたり、注意喚起したりできるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	近隣の保育所等と関わることがない他、地域の他のこどもと活動する機会がなかった。きょうだい児との交流は行っている。	安全管理を徹底したうえで可能であれば、保護者の同意を得たうえで地域の子どもも交えた夏祭りに招待するなどの企画を行う。
2	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	実施自体を行っていない。	第三者による外部評価をまずは行う。評価結果を公表するとともに、支援員間での業務改善へとつなげる。
3	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	虐待防止委員会の設置自体は事業所内で行っているが、不定期な活動のため結果についても周知徹底が出来ていない。	虐待防止委員会の開催の頻度を決定し定期的に開催するとともに、その結果について書面で事業所内に公表、周知徹底を行う。